

共に取り組むCO2削減計画こもろ H24年度事業実施状況について

大項目	中項目	小項目	事業内容	担当課	H24年度 実施状況	CO2削減量
家庭での取組を促す施策	①ライフスタイルの見直し	グリーン購入の促進	エコマークやグリーンマークなどの環境ラベリング製品に関する情報提供により、グリーン購入の普及を促進します。	生活環境課	関係資料を窓口で配布しました。	-
			地産地消の推進によりフードマイレージの削減を図ります。	農林課	○地産地消推進協議会の開催 年5回 地産地消推進イベント「軽トラック市」の開催 2回 地産地消推進協力店(事業所)の認定 10店 ○学校給食への地元農産物の提供 市内5直売所より、中学校2校、小学校6校、保育園2園に地元農産物の提供 ○学校給食パン用小麦の供給約4, 200kg	2.97t-CO2
	②住宅でのエネルギーの有効活用	省エネにつながる取組の促進	省エネラベリング制度などの情報提供を進め、省エネ型家電製品の導入を促進します。	生活環境課	省エネ家電製品購入の際のエコポイント事業について紹介するため、生活環境課窓口に「省エネ性能カタログ」を設置しました。	-
			「あさがおバンク」を創設し、家庭や事業所で不要となったアサガオなどの種を預かるとともに、希望者に種を提供することで、市内におけるグリーンカーテンの普及を図ります。	生活環境課	家庭や事業所でのグリーンカーテンの普及を目的に、アサガオなどの種を提供しました。平成24年度は14件の利用希望者がありました。	-
			家庭での電気やガス使用量などの環境負荷を数量的に把握し、その低減に向けた取組を促進するために「環境家計簿」などの普及を進めます。	生活環境課	家庭で排出される二酸化炭素排出量を知ることで、温暖化対策や節約に役立ててもらうことを目的に、環境家計簿を全世帯に配布しました。平成24年度版は25件の提出がありました。	-
			再生可能エネルギーに関する情報提供により、家庭への機器導入を促進します。	生活環境課	実績なし	-
	③ごみ焼却量の削減	家庭ごみの減量化の推進	燃やすごみと埋立ごみの処理費用を有料化することにより、家庭ごみの減量化と資源化を促し、製品や商品から廃棄の過程で発生するCO2の削減を図ります。	生活環境課	年間のごみ処理費用やごみの内容調査の結果を広報やごみ資源収集カレンダーなどで周知し、ごみの減量化・資源化への協力について啓発しました。	92.4t-CO2
			3R活動の推進を図ります。	生活環境課	広報等を活用して啓発しました。	-
			廃棄物減量等推進市民会議などによるマイバッグ運動を実施し、買い物時のレジ袋削減を図ります。	生活環境課	小諸市レジ袋削減推進委員会を中心に、毎月5日の「ノーレジ袋デー」にあわせ、市内スーパーなどの店頭で啓発キャンペーンを実施しました。	-
		再使用や再生利用の推進	資源回収活動団体の資源回収活動に対して報奨金を交付し、資源物の再使用や再生利用を図ります。	生活環境課	地域での資源回収活動に対して報奨金を交付するなど、資源物の再生利用を推進しました。(1, 285トン、8, 566千円)	-
家庭から出る廃食用油を回収して塗料などへ再製品化し、省資源化を図るとともに、将来的にはBDFとしてのコミュニティバスへの利用も検討します。	生活環境課		廃食用油を拠点回収し、BDF燃料に精製後、小諸すみれ号2台分の燃料として活用した。(回収量8, 174ℓ、BDF精製量4, 000ℓ、ペイント原料1, 570ℓ)	10.4t-CO2		

共に取り組むCO2削減計画こもろ H24年度事業実施状況について

大項目	中項目	小項目	事業内容	担当課	H24年度 実施状況	CO2削減量	
事業活動での取組を促す施策	①エネルギー対策の推進	新エネルギー・先進技術の導入	企業のCO2削減取組に対して補助などの支援を行い、新エネルギーの利用や関連機器の普及を図ることを検討します。	商工観光課	事業所向け太陽光発電施設設置助成制度を実施し、事業所4社に対して助成金を交付した。合計141.3kWの太陽光発電施設を設置した。	267.15t-CO2	
			企業のISO14001やエコアクション21などの取得に対して補助や情報提供を行い、ISO取得の促進を図ります。	商工観光課	○エコアクション21セミナーの開催 14事業者が参加。 ○信州大学・小諸市産学官民連携協議会交流会の開催 10事業者が参加。	-	
		エネルギー利用の合理化促進	地産地消の推進によりフードマイレージの削減を図ります。	農林課	○地産地消推進協議会の開催 年5回 地産地消推進イベント「軽トラック市」の開催 2回 地産地消推進協力店(事業所)の認定 10店 ○学校給食への地元農産物の提供 市内5直売所より、中学校2校、小学校6校、保育園2園に地元農産物の提供 ○学校給食パン用小麦の供給約4,200kg	2.97t-CO2 (重複)	
	②環境に配慮した事業活動の推進	グリーン購入の促進	エコマークやグリーンマークなどの環境ラベリング製品に関する情報提供により、グリーン購入の普及を促進します。	生活環境課	窓口にて資料を配布し、情報提供により、普及促進を図りました。	-	
			OA機器や自動車などの省エネルギー型機器に関する情報提供を行い、普及促進を図ります。	生活環境課	実施なし	-	
		産業廃棄物の減量化リサイクルの推進	農業用廃棄プラスチック処理事業補助制度などにより、農業用廃棄プラスチックの適正処理やリサイクル推進を図ります。	農林課	平成24年度農業用廃棄プラスチック処理事業に係る運搬経費の1/3を補助しました。(処理量100,372kg、補助金額401,905円)	-	
			廃棄物の多量排出事業者に対し、減量化やリサイクルの推進指導の充実を図ります。	生活環境課	事業系一般廃棄物の減量化を目的に、展開検査を実施し、分別の徹底及び古紙類等の資源化を推進しました。	-	
	自動車利用時や移動時の取組を促す施策	①自動車からの排出抑制対策の推進	エコドライブの取組促進	広報やホームページを利用し、自動車利用時のアイドリングストップを促します。	生活環境課	広報やHPで、アイドリングストップによる燃費向上などをわかりやすく説明し、啓発を行いました。	-
				環境にやさしい運転方法や県が主催するエコドライブ講習会などについて情報提供し、エコドライブの普及を図ります。	生活環境課	広報やHPで、エコドライブについてわかりやすく説明し、啓発を行いました。	-
		公共交通機関の利用促進	公共交通機関としての小諸すみれ号を運行し、自動車利用の代替方法とすることを図ります。	生活環境課	市内11路線(一部御代田町まで乗入)を運行し、平成24年度は90,643人の方にご利用いただきました。また、平成25年度以降の増便やダイヤ改正へ向けて乗客アンケートを実施しました。	208.48t-CO2	
公共交通機関の利用、自動車や徒歩などの移動、相乗りなどに関して啓発し、自動車利用の削減を図ります。			生活環境課	運転免許証自主返納者支援事業として運転免許証自主返納者に対し、小諸すみれ号回数券1万円分を交付しました。平成24年度の申請件数は49件でした。	-		
通勤にマイカーを利用しない「ノーマイカーデー」を啓発し、通勤時の自動車利用の削減を図ります。			生活環境課	HPで長野県の取組紹介や、ノーマイカーデーの参加を市民・事業者へ促し、通勤時に排出されるCO2の削減を図りました。	-		

共に取り組むCO2削減計画こもろ H24年度事業実施状況について

大項目	中項目	小項目	事業内容	担当課	H24年度 実施状況	CO2削減量
二酸化炭素吸収 固定源対策	①木材資源の有 効利用促進	木質バイオマス 利活用の検討	補助制度を利用したペレットストーブの導入促進 によって、木材資源の有効活用と化石燃料の使用 量削減を図ります。	農林課	県のペレットストーブ助成制度を活用しました。 平成24年度補助件数1件、補助額100,000円 (H17~H24補助実績:公共施設34台・個人15台)	1.2t-CO2
			薪ストーブなどで利用するために間伐材を希望 する市民に対して、市が実施した間伐事業につ いての情報や間伐材を提供し、木質バイオマス の利用促進を図ります。	農林課	情報提供を随時受け付け、間伐事業主紹介しました。 (平成24年度薪希望者登録件数12件)	-
	②健全な森林の 保全や整備の促 進	森林の保全	国や県の補助制度、森林づくり支援交付金など を活用し、市有林や民有林の間伐を行い、広葉 樹の発生を促進させ、健全な森林の育成を図り ます。	農林課	除:間伐の実施:59.2ha 松くい被害木処理:1,312㎡(1,225本)	195.36t-CO2
共通的・基盤的施 策	①環境教育や環 境学習の推進	出前講座などの 充実	こもろ出前講座や市民大学における環境メ ニューの受講により、家庭や職場、地域での行 動の見直しを図る。	生涯学習課	出前講座「4-2ごみの分別」1回開催(参加者12名) 市民大学「原発と自然エネルギーを考える」講座開催(受講 者110名) 高齢者教室「いろいろなエネルギーと環境問題」講座開催 (受講者108名)	-
		学校における環 境教育や環境学 習の推進	みんなで環境を考えるシンポジウム(仮称)の開 催	生活環境課	実績なし	-
		学校版ISOをはじめとした環境教育を実施する ことで、子供達の環境に対する意識の高揚を図 る。	学校教育課	環境に対する意識を学校内学習により深め、自然資源の大 切さ等の意識の高揚を図りました。 また、平成24年度小諸市環境大賞「子ども部門」に計142 点の応募を行ないました。	-	
		キッズISO事業の実施により家庭や地域への環 境意識の浸透を図る。	学校教育課	実績なし	-	
		情報提供などでこどもエコクラブの取組を支援し ます。	生活環境課	6団体の活動に対し、道具の貸出などの支援を行いました。	-	

共に取り組むCO2削減計画こもろ H24年度事業実施状況について

大項目	中項目	小項目	事業内容	担当課	H24年度 実施状況	CO2削減量
	②環境情報の収集・提供	環境情報の提供体制の充実	温暖化対策に関する最新の情報や先進的な取組事例などの情報を提供するためにホームページや広報の充実を図ります。	生活環境課	環境全般に対する意識向上を図るため、HPや広報を通じて温暖化対策の取り組み紹介等の情報発信を行いました。	-
			エコマークやグリーンマークなどの環境ラベリング製品に関する情報提供により、グリーン購入の普及を促進します。	生活環境課	関係資料を窓口で配布しました。	-
			健康や環境に配慮したロハスな生活(=こもろはず)の取組や実践者を広報こもろなどで紹介し、家庭生活の見直しを図ります。	企画課	広報こもろの「こもろはず探訪」コーナーで、健康や環境に配慮した持続可能な生活に関する取り組みや実践者を紹介しました。	-
			市関連の建物へグリーンカーテンを設置し、庁舎の省エネとグリーンカーテンの普及を図ります。	生活環境課	市庁舎や関連施設(合計23箇所)にグリーンカーテンを設置しました。採種した種は、次年度のグリーンカーテン用として保存しました。	-
			家庭ごみ減量化やCO2削減など環境活動や環境教育で成果のあった団体や個人に小諸市環境大賞を贈り、エコ活動を推進します。	生活環境課	小諸市環境大賞を開催し、181点(一般の部と子どもの部の合計)の応募をいただきました。選考により入選作品を決定し、10月3日にベルウィンこもろにて表彰式を開催しました。	0.36t-CO2
			市関連の建物へ太陽光発電設備を設置し、家庭や企業における太陽光発電の普及を図ります。	企画課	県元気づくり支援金事業を活用し、西小諸活性化施設『みはらし交流館』に発電規模5.1kwの設備を設置しました。(農林課)	9.64t-CO2

本計画で計画した事業の他に実施した取組

大項目	中項目	小項目	事業内容	担当課	H24年度 実施状況	CO2削減量
共通的・基盤的施策	②環境情報の収集・提供	環境情報の提供体制の充実	ライトダウンキャンペーンに取り組み、市関連庁舎のライトダウンを行うことで省エネするとともに、地域の家庭や事業者に呼びかけ省エネについて呼び掛けます。	総務課 生活環境課	ライトダウンキャンペーンの取組について広報で紹介しました。 また、毎週水曜と金曜をノー残業デーとし、業務終了後は速やかに退庁して庁舎の照明を消すことに努めました。	-
共通的・基盤的施策	②環境情報の収集・提供	環境情報の提供体制の充実	国の地域グリーンニューデール事業基金を活用し、現在白熱灯等を使用している市内全域の防犯灯をH21～23年度にかけてLED化を図る。身近な設備を省エネ化し、市民や事業者へ省エネ設備や意識を普及・啓発する。	総務課	24灯(新設23灯、交換1灯)のLDE防犯灯を設置しました。 事業費:新設1,208,550円、交換81,900円、合計1,290,450円	1.22t-CO2
共通的・基盤的施策	①環境教育や環境学習の推進	出前講座などの充実	環境フォーラム(くらしの市民講座)を開催し、講師に環境の保全に関する取り組みなどについてわかりやすく解説してもらうことで、環境意識の普及・啓発をします。	生活環境課	リコージャパン株式会社より講師を招き、環境経営と生物多様性保全活動についての講演を行いました。(受講者50名)	-